



2011年1月4日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報室

2011年 年頭訓話要約（実施：1月4日、社長：久保田隆）

「変革と創造」の実行 — 社会変化に適応し、徹底的な競争力強化

新興国の経済発展に伴い、エネルギー設備やインフラ整備の需要が高まりつつある。欧米勢、韓国勢、中国勢を含めて生き残りをかけた壮絶なメガ・コンペティションの時代に入っているが、当社のプロジェクトマネジメント力、技術力を生かして戦っていく。2011年は我々のやり方を見直し、社会の変化を先取りしながら、安全に留意のうえ、徹底的な競争力強化を図っていく。

1. 真のグローバルオペレーションの実現

競争力強化（生産性の向上）と世界のニーズに応える体制づくりを進める。メガ・コンペティションの時代を勝ち残るべく、国内外各社との業務提携による協業の実を上げ、グループ企業との連携を進め、ベンダーおよびサブコンとの協業効果を更に高め、千代田グループとしての力を最大限発揮できるよう全社で努めていく。

2. 新たな収益の柱

昨年新設した技術開発事業部門を中心に、当社が持つ技術的なシーズと社会のニーズの接点を求めてビジネスモデルの検討を引き続き推進し、次のステージに進んでゆく。これからは Renewable Energy（再生可能エネルギー）、水、省エネの時代。また電気を中心としたハイブリッドエネルギー供給社会へのシフトが進む。太陽熱発電、太陽光発電、工業排水・副生水を含む水処理ビジネス、発電・鉄道等の社会インフラ、電気自動車用の電池・磁石・関連素材といった分野でエンジニアリング会社としての当社の能力を発展させ世界に絶対的な強みを発揮していく。

3. 年頭にあって

皆さんに強調したいのは①自分で考える力、②考えたことを実行する勇氣、③結果がでるまで続ける執念、④それを助ける組織が何よりも大事であることです。日本に元気を取り戻し、新たな時代を切り拓いていくためにも夢を持つこと、情熱を持つこと、そして挑戦することを忘れずに、知力を磨き気力をもって、千代田グループで立ち向かっていきましょう。

以上

この件に関するお問合せ先：IR・広報室 伊藤 健 / 高橋 昌子

URL: <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>